

【番外編】

私の垂水区長在任中の3か年に渡り綴ってきた「区長日記」。現在も垂水区 HP でバックナンバーを読めますが、いずれは削除されるので、その内容を何らかの形で残したいと思い、製本版を作成することとしました。

3年間で振り返りながら、編集作業を進めると、地域の皆さまとの交流が、今となっては懐かしく、とても貴重な経験として思い出されます。ただ、改めて記載した事柄・写真を目にすると、もっとあんなことを書いておけば良かったとか、違う角度・場面の写真を載せれば良かったと思うことも多くあります。

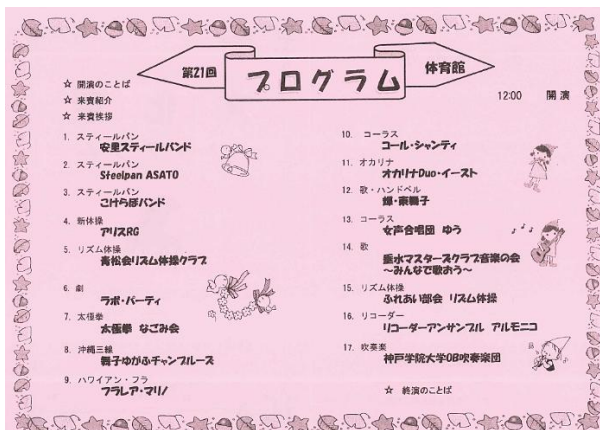
特に、複数の組織を掛け持ちされている方々のご活躍は、もっと掲載したかったのですが、地域バランスを考慮して、あえて掲載しなかったものもあります。

以上から、あえて日記での記載を控えていた、昨年の苔谷公園コミュニティセンター文化祭について、当時を思い出しながら、番外編として記したいと思います。

2026 年 9 月 若松 謙一

第 21 回 苔谷公園コミュニティセンター文化祭（2025 年10月12 日）

早いもので1年近くに前になりますね。毎年恒例の苔谷公園コミュニティセンター文化祭には、3 年連続で参加しました。



この文化祭、司会の伊藤委員長の澄み渡る美声で進行されます(褒めすぎですか。でも、事実ですから:笑)。
そして、垂水区音楽協会でもご活躍の江川さんが音響を担当され、二人のコンビネーション良さに感化され、私の挨拶もいつもより饒舌だったと思います(嘘、笑)。



演目の冒頭を飾ったのは、3組のスティールパンのグループ。神戸では震災以降に新長田で多くの方がスティールパンを演奏されていて、とても元気が出る心地よい音色は、私のお気に入りです。垂水区内で聞くのは初めてだったと思いますが、本日も元気をいただきました。



以降、順に簡単に紹介します。
「アリス RG」による新体操は毎年観ており、子ども達のしなやかな演技に魅了されました。



オレンジの T シャツが印象的な青松会のリズム体操も3 年連続。今年も、サザエさんのリズムに会場は穏やかな空気に包まれました。



「ラボ・パーティー」は、英語と日本語の物語を全身で表現するバイリンガル劇。子ども達の懸命な演技が胸に響きました。



「なごみ会」による太極拳。
息遣いがこちらにまで伝わって来ました。



「ゆがふチャンブルーズ」による沖縄三線。
他地区の地域行事で何度も拝見していますが、主宰の坂口かおりさんは本拠地は舞子でしたね。



「フラレア・マリノ」のハワイアン・フラ。
降り注ぐ太陽の光を、リアルに浴びているように気持ちよく踊られていました。



「コール・シャンティ」によるコーラスには、ハイレベルなコーラスを3年連続で楽しませていただきました。



ここまでで、プログラムの半分あまりですが、私はここで退席。毎年他行事と重なり、今年も過去2年同様、最後まで拝見できず申し訳ない気持ちでいっぱいでした(この日も確か、夜の布団太鼓東西練り合わせ含め、5件の行事が重なっていました)。

開会前には、今年も2階集会室の「おやすみ処」で、ロールパンセットをいただきました。これも私のお気に入り。手作りで本当に美味しいのですよ！いつも、もう1セット食べたくのですが、皆さんの分がなくなってしまうと困りますから、後ろ髪を引かれながら、退散しました。



センターの体育館はこの文化祭のあと、空調設備工事に入ったと思います。完工後再び訪ねることができませんでしたが、快適な環境の下、引き続き、皆さんの活動が活発になされていることと思います。

荳谷公園コミュニティセンター運営委員会の伊藤委員長は、東舞子地区民生委員・児童委員協議会の会長、保護司などとしても活躍され、「(仮称)たるみ SIO6 プロジェクト」にもご協力いただき、垂水区政の推進に多大なるご尽力をいただきました。改めて感謝申し上げます。



今年の文化祭は、10月11日(日)の開催と伊藤委員長から伺っています。盛会をお祈り申し上げます。